

※下の番号は式順の番号です。

16. 献爵



孔子(至聖先師文宣王)に甘酒を爵(しゃく)に注ぎ奉納する。手順7と12では、爵に触れる献官の手と器を、水で清めます。献爵は、式典内で各3回ずつ、計15回行われる。



平成 28 年度 春季釈菜

～三百年の歴史を刻む～

参列生徒の唱歌

大聖至聖文宣王

その徳世界に溢れたり

嗚呼孔子、孔子

夫子は国の基なり

多久聖廟

釈菜

※多久家家紋(桔梗)

※下の番号は式順の番号です。

1. 詣廟



市長(献官)をはじめ市会議長・教育長・小中学校長などの祭官が、聖光寺(しょうこうじ)から出発して、聖廟へ向かいます。

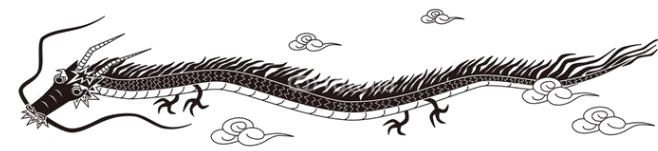
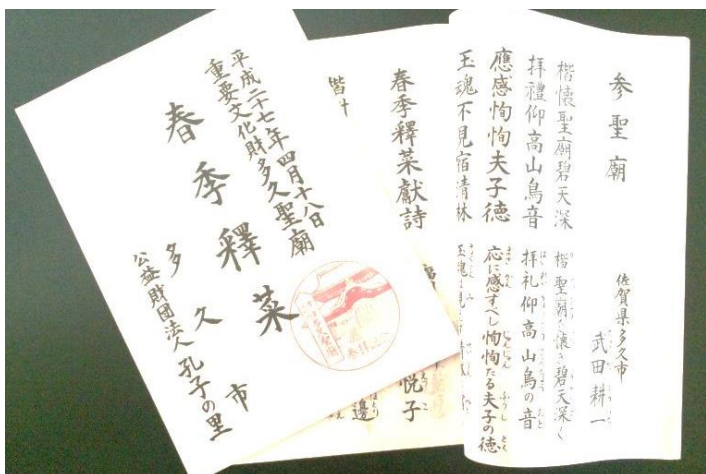
中国の明時代の祭官服を身にまとい、伶人(れいじん)は烏帽子(えぼし)に直垂(ひたたれ)をまとっています。



有朋自遠方来 不亦乐乎

86. 読詩

多久聖廟釈菜に合わせて、日本全国各地の方々から奉納いただいた献詩(けんし)を、祝者(しゅくじゃ)が朗読します。多久には漢詩をたしなむ文化があり、全国大会の「全国ふるさと漢詩コンテスト」が開催されています。※冊子は、ご招待者、もしくはご寄附等をいただいた方のみ配布しております。



平成 28 年度 春季釈菜

～プログラム～

- ① 釈菜(せきさい) 10時30分～11時30分 (聖廟内)
- ② 釈菜の舞 11時30分～11時45分 (聖廟境内)
- ③ 参列生徒の唱歌 11時45分～11時50分 (聖廟境内)
- ④ 揚琴の調べ 11時50分～12時00分 (聖廟境内)
- ⑤ 孔子の里腰鼓 12時00分～12時10分 (仰高門前)

お呈茶 10時～14時(東原庁舎)

※諸事情により予定を変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

孔子に犠牲・蔬菜を供え、爵を薦めて祀る

典礼は、漢の皇帝・劉邦が高祖12年(紀元前195年)行ったのが最初といわれている。

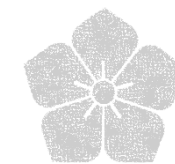
日本では大宝元年(701年)二月に、大学寮で釈奠が初めて行われ、以後二月・八月の上丁の日に行うを例として、宮中の年行事の一つに組み込まれていた。天皇の列席がありまさに国家的行事であった。

藩より規模の小さい多久聖廟では、儀式を簡略化した釈菜が執り行われてきた。

この行事は、創建以来、春秋二回 三百年以上続けられている。

※当日のプログラム(裏面)

5. 献饌



孔子・顔子・曾子・子思子・孟子の順に供物を奉げます。多久聖廟では、銀杏(秋は棗)・栗・雉肉(秋は鮒)・筍・芹・飯・餅・甘酒の八種です。使われている祭器の大半は青銅製で、創建当時から使われているもので、一般の方にも式典終了後には聖廟内でご覧いただけます。



多久聖廟祭菜式順

(多久聖廟創建時の「多久聖廟祭菜儀節」による)

1.詣廟

献官・祭官が入廟し、祝者が聖龕を開扉する。

2.排班

祭儀のための隊形となる。

3.迎神

文宣王（孔子）をお迎えする。

4.鞠躬・拝・興・拝・興・平身

（鞠躬）丸くなってかがむ、（拝）拝む、（興）立つ、（平身）もとの姿勢に戻る。

5.献饌

祝者が聖龕を開扉し、執饌が棗（銀杏）・栗・芹・筍・鮓（雉肉）・飯・餅のお供物を運び、祝者が孔子と四配に供える。

6.點閱

掌儀がお供物を検査する。

7.詣盥洗所

献官は洗所にて手を洗う。

8.詣香案前

献官は聖壇の香机の前に立つ。

9.跪 -----献官はひざまずく。

10.上香

お香を三回あげる。

11.俯伏・興・拝・興・拝・平身

（俯伏）ひれ伏す、立つ、拝む、立つ、拝む、もとの姿勢に戻る。

12.詣爵洗所

献官は爵を洗所で洗う。

13.詣酒尊所

献官は東の酒置場に行く。

14.詣至聖先師文宣王神位前

文宣王の前に進む。（初献の儀）

15.跪

16.献爵

酒を供える。

17.俯伏・興・平身

香机の前で行う。

18.詣読祝位

祝者が祝文の準備をする。

19.衆官皆跪

祭官が全員ひざまずく。

20.読祝

祝者が祝文を読む。

21.俯伏・興・拝・興・拝・興・平身

香机の前で行う。

22.献爵於配位・詣酒尊所

献官は西の酒置場に行き、酒を供える準備をする。

23.詣復聖顔子神位前

献官は顔子の前に進む。

24.跪

25.献爵

26.俯伏・興・拝・興・拝・興・平身

27.詣宗聖曾子神位前

献官は曾子の前に進む。

28.跪

29.献爵

30.俯伏・興・拝・興・拝・興・平身

31.詣述聖子思子神位前

献官は子思子の前に進む。

32.跪

33.献爵

34.俯伏・興・拝・興・拝・興・平身

35.詣亜聖孟子神位前

献官は孟子の前に進む。

36.跪

37.献爵

38.俯伏・興・拝・興・拝・興・平身

39.行亜献礼・詣酒尊所

献官は東の酒置場に行き、酒を供える準備をする。

40.詣至聖先師文宣王神位前

献官は文宣王の前に進む。（亜献の儀）

41.跪

42.献爵

43.俯伏・興・平身

44.献爵於配位・詣酒尊所

献官は西の酒置場に行き、酒を供える準備をする。

45.詣復聖顔子神位前

46～48. ※繰り返す

49.詣宗聖曾子神位前

50～52. ※繰り返す

53.詣述聖子思子神位前

54～56. ※繰り返す

57.詣亜聖孟子神位前

58～60. ※繰り返す

61.行終献礼・詣酒尊所

献官は東の酒置場に行き、酒を供える準備をする。

62.詣至聖先師文宣王神位前

献官は文宣王の前に進む。（終献の儀）

63～65. ※繰り返す

66.献爵於配位・詣酒尊所

献官は西の酒置場に行き、酒を供える準備をする。

67.詣復聖顔子神位前

68～70. ※繰り返す

71.詣宗聖曾子神位前

72～74. ※繰り返す

75.詣述聖子思子神位前

76～78. ※繰り返す

79.詣亜聖孟子神位前

80～82. ※繰り返す

83.衆官復位

献官・祭官は入廟と同じ隊形になる。（二列）

84.詣読詩位

祝者は献詩の準備をする。

85.衆官皆跪

祭官全員ひざまずく。

86.読詩

祝者は献詩を読む。

87.撤饌

掌儀はお供物を下げる。（現在は参列者の為に、お供物はそのままにしておく）

88.排班

祭儀のための隊形となる。

89.送神

文宣王（孔子）を送る儀。

90.鞠躬・拝・興・拝・興・平身

91.礼畢

祭官は退廟する。

92.揖礼

境内で祭官は、お互いに終わりの挨拶をする。

93.終閉

※現在は、参列者の為に終閉は行っていない。